

第2回東アジア首脳会議(EAS)における 日本のエネルギー協力イニシアティブ

-Fueling Asia- Cooperation Initiative for Clean Energy and Sustainable Growth

別添 1

エネルギー需要の急増が見込まれる東アジア地域におけるエネルギー安全保障向上のため、日本は、以下の協力パッケージを実施する。

1. 省エネルギーの推進

- 各国の省エネ計画策定や制度整備等を促進するため、今後5年間で域内各国より1000名の研修生を受け入れるとともに、専門家500名を派遣。
- 省エネ情報の一元窓口として「アジア・省エネ協力センター」を設置。
- 省エネ分野で、円借款及びJBICの投資金融等を積極的に活用。

2. バイオマスエネルギーの推進

- バイオ燃料製造・規格等についての共同研究を実施するため、「アジア・バイオマスエネルギー研究コア」を設置。
- バイオマス分野専門家育成のため、今後5年間で500名の研修生受入を実施。
- 同分野の政策、技術のベストプラクティス等に関するセミナーの開催。
- 上記のバイオマスエネルギー協力を円滑に進めるため、「アジア・バイオマスエネルギー協力推進オフィス」を設置。

3. 石炭のクリーンな利用

- 「石炭液化支援センター」を建設し、商業化に向けた普及を図るとともに、専門家を育成する。
- クリーン・コール・テクノロジーに関する技術協力の実施。

4. エネルギー貧困の解消

- EAS参加各国の置かれている経済社会状況を勘案した、電力設備の整備、地方電化等のエネルギー・アクセス改善や省エネ対策を含む資金協力・技術協力として、今後3年間で20億ドル規模のエネルギー関連ODAを実施するとともに、JBICの投資金融等も積極的に活用。